

12月13日(日)

地域を盛り上げるイベント 「年忘れフェス」

ゆめパーク牧野において開催された、(一社)みどりと空のプロジェクト主催「年忘れフェス」。当日は、門松作りや竹灯籠作り、電動トラクター乗車体験、薪割り&火おこしなどのさまざまな体験コーナーが設けられました。また、スクワット大会や各種ゲーム大会、サンタさんとの写真撮影会が行われるなど、子どもたちにとってわくわくするイベントが盛りだくさんで開催されました。

主催者代表の山浦理事長は「遠くへ行かなくても地域でこのようなイベントが楽しめるということを感じてもらいたい。また、今回は子どもたちを中心とした内容となっているので、少しでも楽しんでもらい思い出に残ってくればうれしい」と話されていました。



- ①ボールを穴に投げてビンゴを揃えるゲームに挑戦 (各種ゲーム大会)
- ②少し早いクリスマスプレゼント (サンタさんとの写真撮影会)
- ③何回できるかな? みんな必死! (スクワット大会)



このコーナーでは、町で行われたイベントなどを紹介します。



11月4日(水)・25日(水)

初めて挑むパラスポーツ 「ボッチャ体験」

東金特別支援学校の生徒たちで構成されるオリ・パラ推進隊との交流事業として、芝山小学校および芝山中学校において「ボッチャ体験」が実施されました。

千葉県教育委員会から「オリンピック・パラリンピック教育推進校」と「特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業」の二つの指定を受けている東金特別支援学校が、オリンピックやパラリンピックの魅力を伝えるスペシャルチームとして発足したオリ・パラ推進隊。小・中学生に障害者スポーツを伝え、その魅力や競技などを伝えるとともに、一緒にプレーして交流を図り、障害者理解の促進やインクルーシブな社会づくりに努めることを目的に活動しています。

今回、初めてボッチャを体験した芝山小・中学生は、最初は緊張気味にプレーをしていましたが徐々にコツをつかむと、随所にナイスショットを見せるなど試合を盛り上げていました。ボッチャという一つのスポーツを通じて、オリ・パラ推進隊の方との交流を楽しむとともに、パラスポーツを学ぶ1日となりました。



- ①ジャックボールの置き所が重要! (芝山中学校、11月25日)
- ②点数計算について説明を受ける様子 (芝山小学校、11月4日)
- ③ボッチャの意味はイタリア語で「ボール」

